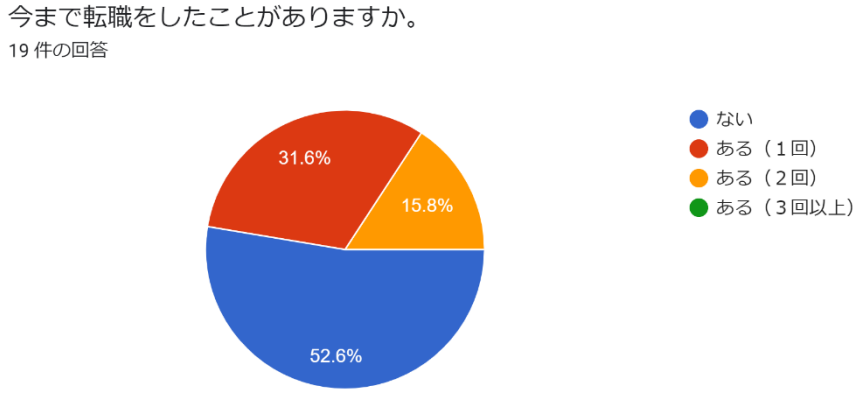
令和 5 年度　函館大学卒業生アンケート調査結果

【卒業生へのアンケート】

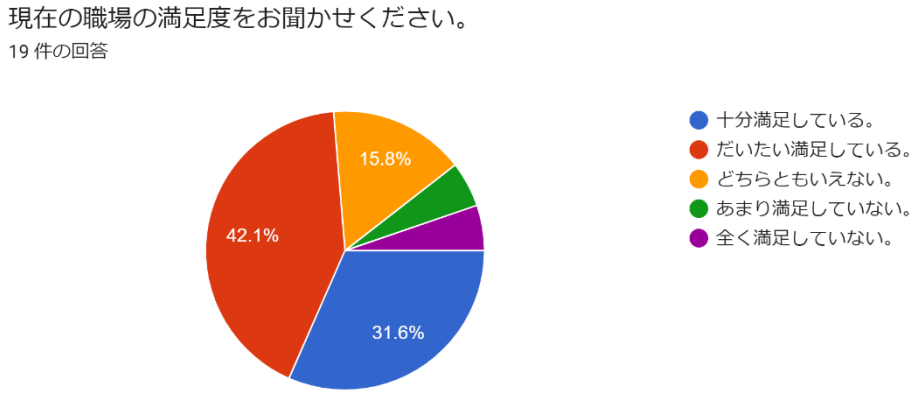
1. 実施期間：令和 5 年 8 月 18 日(金)～9 月 1 日(金)
2. 調査対象：2016 年度カリキュラムの卒業生
3. 調査方法：Google フォームによる WEB 回答
4. 回 答 数：19 件（回答率 27.5%：19/69 名）
5. 調査結果：

（1）　本学卒業生の職業定着状況について

今まで転職したことがあるかという設問に対し、19 名中 9 名が、転職経験があることが分かった。厚生労働省が発表している就職後 3 年以内（新規大卒就職者）の離職率の平均が 31.5%に対し、やや割合が高い。



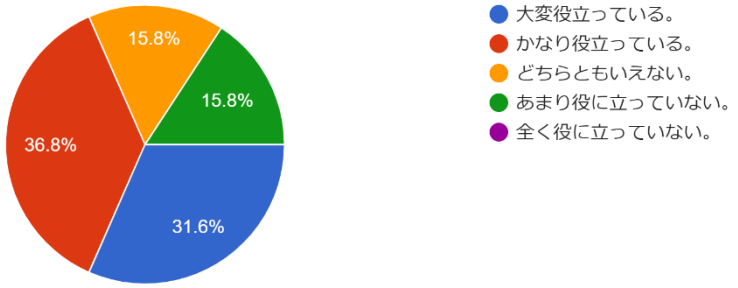
転職経験者は全国平均と比較しやや多い結果であったが、一方で現在勤めている職場に対する満足度は、回答者のうち 7 割以上が満足していると回答があった。



（２）大学での学びについて

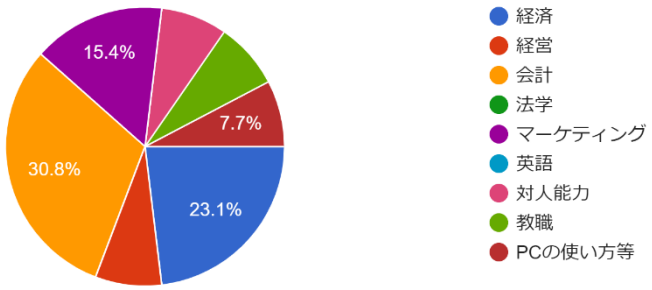
大学時代に学んだ内容が、現在の仕事にどれくらい役に立っているかという設問に対し、回答者のうち 68.4%の卒業生から役に立っていると回答があった。役に立っていないとの回答が 15.8%という結果であった。

大学時代に学んだ内容（分野・科目）は、今の仕事にどのくらい役立っていますか。
19 件の回答



大学時代に学んだ内容が役に立っていると回答された中で、特に役立っていると思われる科目の分野については、「経済」・「会計」がやや割合が高く回答があり、次いで「マーケティング」の分野であった。本アンケートと同時期に実施した「社会のニーズに応える教育改善のための企業アンケート調査」においては、企業側が興味のある科目分野として「経営」・「マーケティング」・「語学」が並んで最も注目されており、卒業生の体感とはズレが見受けられる。

上記で「役立っている」と答えた方は、どの分野の科目が特に役立っていると思いますか。
13 件の回答



また、大学時代に取り組んでおけば良かったと思うものはあるかという設問に対し、簿記や語学、数学、IT スキルに関する勉強や資格取得に取り組んでおくべきだったと回答した卒業生が多かった（19 名中 11 名）。その他、論理的思考能力を身につける、社会構造や職種・職業についての知識を深める、上場企業の経営戦略について深く学ぶ、ということに取り組んでおきたかったという声も上がっていた。

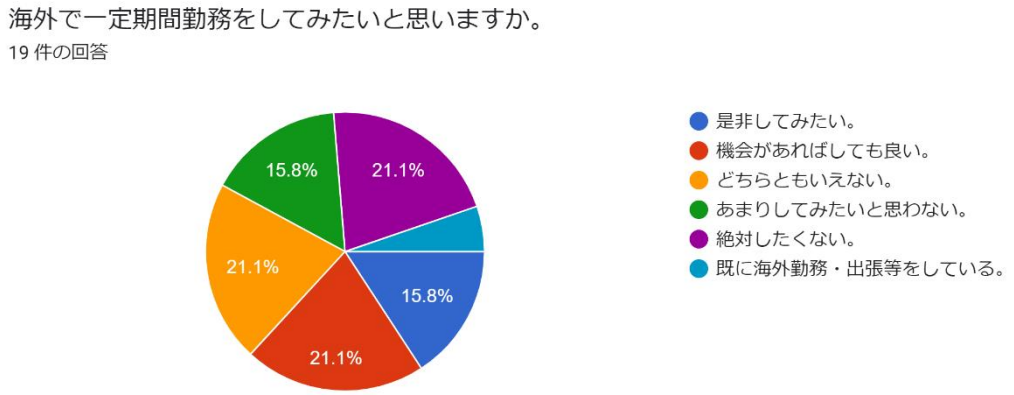
（３）現在取得しようとしている資格はありますか？

勤め先の職種などにも影響があるようだが、回答には様々な資格が挙げられた。その中に日商簿記検定も挙げられており、現在本学で注力している資格（日商簿記検定・TOEIC）について在学中にいかに取り組んでもらえるか、工夫が求められる。

【取得しようとしている資格】
・日商簿記検定　・第１種安全衛生管理者　・気象予報士　・FP　・危険物取扱者試験　・ビジネス実務法務検定　・金融業務３級　・個人情報主任者試験　・児童発達支援管理責任者　・公認会計士　・NSCA-CPT（パーソナルトレーナー）　・事業用操縦士　・宅地建物取引士

（４）海外勤務に対する興味度

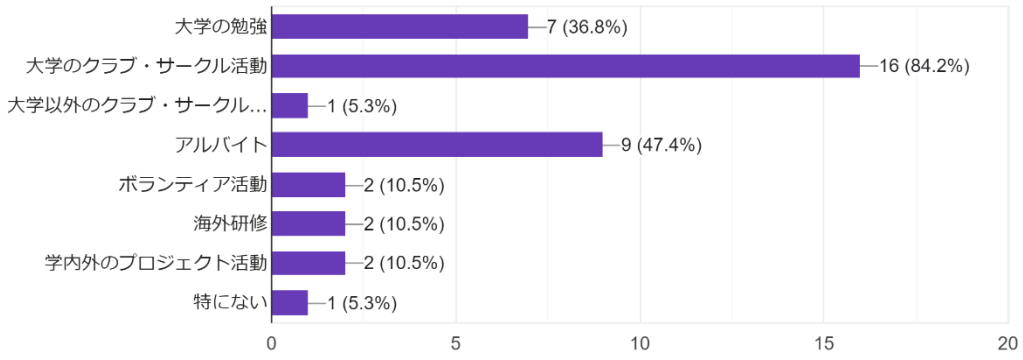
海外で一定期間勤務をしてみたいかという設問に対し、肯定的な回答は 36.9%（19 名中 7 名）であった。反対に、否定的な回答も同数 36.9%（19 名中 7 名。うち絶対したくないという回答が 4 名。）であった。海外勤務をしてみたいという要望もあること、英語国際コースを有することをあわせると海外勤務を前提とした企業への就職支援を行うことも検討したい。



（５）学生時代に打ち込んだこと・大学生活の満足度

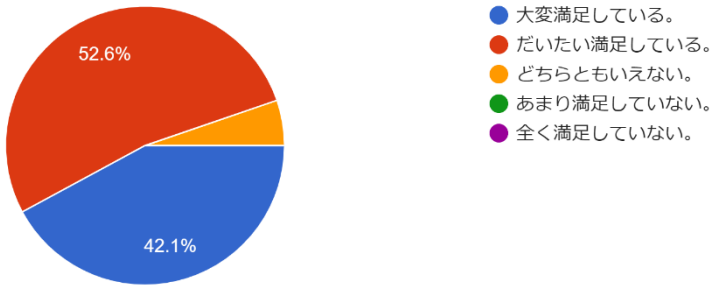
大学在学中に「特に打ち込んだ」と言える活動は何かという設問に対し、ほとんどの卒業生（19 名中 17 名）が「大学内のクラブ・サークル活動」を選択した。3 つ回答可能としており、それ以外の選択肢では「アルバイト」（9 名）と「大学内の勉強」（7 名）が次いで多くなっていた。本学の特徴として部活生も少なくないことから「大学内のクラブ・サークル活動」の回答が多くなることは想像に難くない。一方で「大学の勉強」に注力したとの回答が一定数あったことは、部活生も大学の勉強に注力していた様子がうかがえる。部活をやりながら、海外研修やプロジェクト学修まで挑戦できている学生は少ないようであるため、部活生でも参加しやすい工夫を検討すべきである。

大学在学中に「特に打ち込んだ」と言える活動は何ですか。３つまで選んでください。
19 件の回答



続いて、本学に対する総合的な満足度に関しては肯定的な回答が９割を超え、卒業生から一定の評価を受けている。

大学生活を振返ってみて、函館大学に対する総合的な満足度はどの程度ですか。
19 件の回答



（６）函館大学の良いところは何か

「函館大学の良いところとして、印象に残っていることがあれば記入ください」という設問に対し、多く挙げられたのが「教職員と学生との距離が近く相談・学修しやすい環境であった」ということである（同様の回答６件）。反面、教授内容やプロジェクト学修についてのコメントはほとんどなかった。その点においても評価してもらえるよう、より一層教育改善に取り組んでいくべきであろう。

【函館大学の良いところとして、印象に残っていること】
・教職員と学生との距離が近い（6 件）　・全国各地の学生が集まっている（2 件）
・クラブ活動（2 件）　・挑戦しやすい環境である　・海外の大学との協定がある
・ビジネスマナーを学べた　・函館という地域自体が良い　・寮が近い　他

（7）函館大学で教育すべきと思うこと

「社会人としての経験を通して、函館大学で教育したほうがいい・取り組んだ方がいいと思うこと」という設問に対し、インターンシップや会社内での制度の知識などキャリア教育を強化すべきという意見が挙げられた。本学では3年次を対象にキャリアガイダンスを実施しているが、単位化されておらず出席状況も思わしくない点は改善すべきところである。また、2年次対象のキャリア教育はプログラムの用意がない状態であり、全学的にキャリア教育の見直しを行っていきたい。

また、就職してから語学の必要性を改めて感じるケースもあるようで、本学としても語学教育は頻繁に見直しを行い改善に努めているところではあるが、学生のうちからその必要性を感じてもらうことができるよう工夫をしていくべきであろう。

【函館大学で教育すべきと思うこと】
・英語、英会話（3件）　・数学　・簿記　・漢検　・コミュニケーション能力
・プレゼンテーションスキル　・インターンシップの拡充　・会社内における制度の教育　・金融リテラシー（物価・年金・税金など）　・ITの知識